

お客様各位

2023年1月11日
北興化学工業株式会社

変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、2023年1月11日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

農薬名

第23846号 ファーストオリゼパディート粒剤

適用変更の内容

- 作物名「稲（箱育苗）」の使用量に「高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り50～100g）」を追加する

【変更後の適用内容】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の床土に 均一に混和する。
	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イナゴ類 ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ イネヒメハモグリバエ	高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50～100g)	は種時 (覆土前)		育苗箱の床土に 均一に散布する。

シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
1回	2回以内(移植時までの処理は1回以内)

【変更後の使用上の注意事項（追加事項）】

- 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら [（農薬製品・安全データシート（SDS）一覧）](#) からご参照ください。

以上